

矢部高校通信

文責：校長

みどり戦略学生チャレンジ全国大会



食農科学科で「矢部高産 有機イチゴ栽培」に取り組んだ3年生が応募しました。九州代表として農林水産省で行われた大会に参加し、結果として九州農政局長賞を獲得しました。山都町で有機栽培に取り組む生徒たちの頑張りは大きな可能性を秘めています。今後もこの取り組みを続けてくれるようです。

学校運営協議会

矢部高校の今年度の教育の取り組みについて6月に承認いただき、2月にその成果の検証と次年度に向けて改善点や提言をいただく会となっています。生徒、保護者、職員のアンケート結果や各分掌部の目標の達成度などを数値化したものも資料として提示しています。今年度の取り組みは了承いただきホームページに掲載します。また、更なる魅力化のために山都町に対し寮の建設が要望として承認されました。



山都町ワークショップ



山都町主催で中高生が将来の山都町をどのようにしたいのかアイデアを出し合うワークショップが開かれています。若い世代の意見は貴重です。

シイタケ栽培と販売



シイタケの原木栽培と校内販売も行っています。購入し忘れた私に1年生が放課後残って手渡しに来てくれました。優しいシイタケは美味でした。

「好きっ！通潤パズル」第2弾お披露目会

林業科学科の生徒たちが「総合的な探究の時間」として、山都町の現状に対して生徒たち自身が貢献できることはないかを考え取り組んだものになります。この取り組みは県や町のSDGsの賞を頂くなど評価もされています。会場には多くの方やマスコミが来場され、取り組みの広がりを実感しました。



教育振興会人材育成基金奨学金給付式



教育振興会は、山都町、同窓会、育友会から支援金をいただき活用されています。今回、同窓会副会長の江藤様から11人の生徒に奨学金が一人ずつ交付されました。受け取った生徒たちも一人ずつお礼とともに奨学金の活用目的や進路目標などを話してくれました。一人ひとりしっかりと学校生活や進路についての目標を持って日々過ごしていることが伝わり、矢部高校での成長ぶりに感激しました。

卒寮式

町外出身の生徒たちは主にNPO法人が経営する「やまと令和寮」に入り高校へ通っています。卒業式の前日に一足早く卒寮式が行われました。式にはNPO法人や山都町教育長の出席もあり、卒業生を送り出すことができました。卒寮生は「のびのびと学ぶことができた」と3年間を振り返っていました。



卒業式



令和6年度の卒業式を挙行了しました。卒業した3年生は「自ら気づき 考え 行動する」をよく体現し、数々の素晴らしい成果を残した生徒たちでした。それは生徒たちの頑張りはもちろんですが、担任の先生方をはじめ職員や地域の方々、保護者の皆様の御理解と御協力あってのことです。矢部高校で学ぶ生徒たちの成長を見ると、山都町という地にある高校だからこそできる教育と地域連携が大きな要因だと強く感じます。少子高齢化の問題は大きいですが、今できることに取り組み、地域に貢献できる人材育成にさらに尽力してまいります。